



松井須磨子



©1947年松竹株式会社「女優須磨子の恋」より

第I部「ゴンドラの唄百年」

平成27年7月11日(土)14:00開演(13:30開場)

牛込笹笥区民センター 4階コンドル

藝術座の数ある劇中歌の中でも、百年後の現代まで歌い継がれている「ゴンドラの唄」が、どのようなシーンで受け継がれてきたのか、幅広く検証して考察します。また、音楽会では、「カチューシャの唄」「ゴンドラの唄」「さすらいの唄」をはじめ、中山晋平作曲の童謡、竹久夢二作詞作曲の「宵待草」などを歌います。観客の皆様とご一緒に歌う歌もご用意。

講演「ゴンドラの唄 百年のこだま」 相沢直樹(山形大学教授)

音楽会「芸術座劇中歌と懐かしい唄」

吉成文乃(メゾピアノ) / 田ノ岡三郎(アコーディオン)

第II部「映画と須磨子像」

平成27年9月12日(土)14:00開演(13:30開場)

牛込笹笥区民ホール

昭和22年公開の松竹映画「女優須磨子の恋」(溝口健二×田中絹代の名コンビ)作品を懐かしい16mmフィルムで上映します。(96分)

講演では、歌舞伎について数々の名著のある渡辺保氏が、新劇の女優、松井須磨子像について語ります。明治末から大正にかけて歌舞伎のつよい呪縛にとらわれていた演劇界から、真に「女優」として出現した松井須磨子の果たした役割とその意味についてさぐります。

映画「女優須磨子の恋」(溝口健二監督作品) 上映

講演「女優としての松井須磨子」 渡辺保(演劇評論家)

主催：藝術座創立百年委員会 共催：新宿区

協力：江戸東京ガイドの会 / ライオン株式会社

東映アニメーション / 早稲田大学演劇博物館

「いのち短し恋せよ少女」
おとめ
百年の時を経て今に生きる
時代を超えた魅力の秘密に迫る。

ゴンドラの唄 百年の唄

藝術座創立百年委員会企画第3弾

第I部「ゴンドラの唄百年」 平成27年7月11日(土)14:00開演(13:30開場) 牛込算筒区民センター 4階 コンドル

講演「ゴンドラの唄 百年のこだま」

藝術座の数ある劇中歌の中で、百年後の現代まで歌い継がれているこの名曲が、どのようなシーンで受け継がれてきたのか。映画からコミック、コマーシャルまで幅広く検証して考察します。



相沢直樹 (山形大学人文学部教授)

1960年、東京生まれ。山形大学人文学部教授。主にツルゲーネフを研究してきたが、わが国におけるロシア文学の受容を追っているうちに、藝術座の劇中歌に関心を持ち、2012年に『甦る『ゴンドラの唄』—「いのち短し、恋せよ、少女」の誕生と変容』(新曜社)を上梓。

音楽会「芸術座劇中歌と懐かしい唄」



芸術座の舞台上で歌われた「カチューシャの唄」「ゴンドラの唄」「さすらいの唄」をはじめ、中山晋平作曲の童謡や竹久夢二作詞作曲の「宵待草」などを熱唱。観客の皆様と一緒に歌う曲も用意しました。

竹久夢二作「ゴンドラの唄」しおり



吉成文乃 (メソソプラノ)

獨協大学外国語学部ドイツ語学科卒業。在学時に交換留学生として渡欧し、ウィーン大学にて音楽学を学ぶ。東京藝術大学音楽学部声楽科アルト専攻を今春卒業。第40回国際ウィーン音楽夏期講習会に参加し、ディプロム取得。足利オペラ・リリカ第4期生。



田ノ岡三郎 (アコーディオン)

東京を拠点に全国津々浦々(時に海外)で活動続ける「旅するアコーディオニスト」。様々なジャンルのRecording及びライブ、イベントなどで活躍し、舞台やTVへの出演も多数。歌うように奏で上げる音色には定評がある。これまでに4作のソロアルバムを発表し、完全一発録音による瑞々しい質感の最新作「夏への扉」も好評を博す。

第II部「映画と須磨子像」 平成27年9月12日(土)14:00開演(13:30開場) 牛込算筒区民ホール

映画「女優須磨子の恋」上映

昭和22年に公開の松竹映画。監督溝口健二と主演田中絹代の名コンビ作品。新劇運動の先駆者・島村抱月と看板女優松井須磨子の活躍と悲劇的顛末を描き、当時の話題を集めた作品。ちなみに同年、東宝も松井須磨子の生涯を題材にした作品「女優」(衣笠貞之監督、山田五十鈴主演)を公開。戦後間もない時代、映画界の二人の巨匠から二つの須磨子像が蘇りました。



講演「女優としての松井須磨子」

演劇評論の中でも、歌舞伎について数々の名著のある渡辺保氏が、新劇の女優、松井須磨子像について語ります。明治末から大正にかけて歌舞伎のつよい呪縛にとらわれていた演劇界から、真に「女優」として出現した松井須磨子の果たした役割とその意味についてさぐります。



渡辺保 (演劇評論家)

1936年、東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒。東宝(株)演劇部企画室長を経て、現在、演劇評論家、放送大学客員教授。『女形の運命』で芸術選奨文部大臣新人賞、『忠臣蔵』で平林たい子賞、また同書と『俳優の運命』で河竹賞。『娘道成寺』で読売文学賞、『四代目市川團十郎』で芸術選奨文部大臣賞、『黙阿弥の明治維新』で読売文学賞、『明治演劇史』で再び河竹賞を受賞。他に『江戸演劇史(上・下)』など著書多数。紫綬褒賞、旭日小綬章を受章。

チケット 5月20日より発売開始

第I部 2,000円 第II部 1,000円

チケット取り扱い

サザンカンパニー 03-5227-2772 (平日13:00~18:00)

山下漆器店 03-3269-2385 (11:00~18:00) 神楽坂上交差点

牛込算筒区民センター 牛込算筒区民ホール

東京都新宿区算筒町15

- 都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」
A1出口より徒歩0分
- 東京メトロ東西線「神楽坂」
2番出口より徒歩10分



芸術座百年記念・神楽坂まち歩き

芸術座跡地、尾崎紅葉旧居など神楽坂の路地や史蹟をめぐるります。

開催日: 6月21日[日]・22日[月]・24日[水]・27日[土]・30日[火]・7月1日[水]

時間: ①10:30~(集合10:15) ②14:00~(集合13:45) (所用時間: 約1時間30分)

集合場所: 毘沙門天善國寺境内(東京都新宿区神楽坂5-36)

雨天決行

参加費: 1000円(絵はがき付き)

各回定員10名(先着順)

お申し込み先

往復はがきに、参加希望日、時間、人数、住所、電話番号を明記して

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-66 サザンカンパニー までお申し込みください。

お問い合わせ サザンカンパニー 03-5227-2772 (長岡/平日13:00~18:00)